一般質問



工藤　晃
協創のしろ

ニツ井地域の人口減少から考える

問　市全体から見ても、ニツ井地域のような周縁部で人口減少の度合いが激しい。これまでの人口動態や地域の状況を踏まえ、人口減少の現状をどのように捉え、今後につなげていくか。

答　ニツ井地域では20年間で38・1％の人口減少となっている一方、能代地域でも25・4％減少していることから、能代市全体での人口減少対策が重要かつ喫緊の課題であると認識している。今後は地域の実情に合わせた施策や支援の在り方を研究し、第3次能代市総合計画においても人口減少対策を最重要課題として位置づけ、取組を進めていく。

並木・街路樹の計画的整備と景観資源化

問　市がこれまで培ってきた、樹木を美しく管理する知識と技術で、市内外に誇れる並木・街路樹の計画的な管理を前進させ、さらに、景観、観光資源としてそれらの魅力を発信してはどうか。

答　市内の並木や街路樹は、豊かな都市環境を創出するだけでなく、季節の移り変わりを感じられる貴重な景観資源と認識している。桜の季節には関係機関と連携し、開花情報を発信しており、訪れる観光客も増えてきている。今後もこれまでの取組を継続するとともに、並木や街路樹を含めた情報発信の在り方を研究していく。

その他の質問事項
○外国人住民と地域住民の安心のために
○副市長の就任と市政運営



髙橋　大樹
希望

災害対策

問　災害発生直後の情報伝達の課題、そして指定避難所が災害の種類によって機能し、高齢者や乳幼児など要配慮者が安心して避難生活を送れる体制は構築できているか。

答　災害情報は、防災行政無線や防災アプリ、メール等、多様な手段で発信しており、複数の手段での情報確認を周知している。指定避難所は、災害種別ごとにそれぞれの被害影響が及ばない安全な場所を指定している。また、要配慮者については、個別避難計画の策定や地域との連携、福祉避難所の開設体制を整備している。

ニツ井地域での歯科医院・診療所開設

問　ニツ井地域の歯科医院がない現状を踏まえ、行政の責務として、歯科医院の開設、歯科医師・歯科衛生士を確保することについて検討していくべきではないか。

答　現在、本市の歯科医院は20か所あることなどから、歯科医療体制は不足している状況にはないと認識しているが、身近に歯科医院があることが望ましいと考えている。新たな歯科医院の開業には、相当数の受診見込みやスタッフの確保等の課題もあることから、他自治体の取組事例等を参考に、どのような取組ができるか調査研究していきたい。

その他の質問事項
○中心市街地柳町商店街の活性化
○こどもまんなかエリア整備



笹村　夏樹
市民ネットワーク
（大河の会・能代民政会・市民の風）

任期終了後の地域おこし協力隊

問　定住率や起業率を上げるためにも、任期終了後の地域おこし協力隊が、引き続き市と関わりを持ちながら、能代をもっと盛り上げていく仕組みや支援はできないか。

答　任期終了後も元隊員に市のイベント参加や情報発信等で個別に関わっていただいている。知識・経験・人的ネットワークの活用は定住促進や関係人口拡大につながることから、企業委託型制度や起業支援補助金による支援を行っている。また、元隊員による助言機会や交流の場を設け、先輩から現役隊員へつながる支援体制の構築を進めていく。

こどもまんなか交流施設の整備

問　7月に開催された説明会から2か月での関連予算案提出は、出された意見に対する検討が不十分であり、津波浸水想定区域を選んだ理由も分からない。本当に能代公園まで避難が可能と考えるか。

答　説明会での意見を踏まえ、津波対策の検討や避難ルートの検証を行っており、引き続きいただいた意見を尊重し事業に取り組む。河畔公園は周辺施設との連携やアクセス性、市有地への整備の妥当性等を総合的に勘案し候補地とした。避難は能代公園方面を基本に、市役所・畠町方面も想定し、避難計画や避難訓練等で安全確保に努める。

その他の質問事項
○若者を応援するまちづくりとは
○再エネ事業者の協力で若者応援基金創設を
○道の駅ふたつい前の信号機設置